

山田昌久教授記念論文集



山田昌久教授

山田 昌久 教授 略年譜および業績目録

【略年譜】

- 一九五三年七月 神奈川県横須賀市に生まれる
- 一九六〇年 横須賀市立鶴久保小学校入学
- 一九六六年 横須賀市立不入斗中学校入学
- 一九六九年 神奈川県立横須賀高等学校入学
- 一九七三年 明治大学文学部史学地理学科考古学専攻入学
- 一九七七年 明治大学文学部史学地理学科考古学専攻卒業 駿台史学会賞受賞
- 一九七七年 明治大学大学院文学研究科史学専攻博士前期課程入学
- 一九七九年 明治大学考古学陳列館嘱託学芸員採用
- 一九八〇年 明治大学大学院文学研究科史学専攻博士前期課程修了
- 一九八二年 明治大学考古学陳列館嘱託学芸員退職
- 一九八二年 筑波大学歴史人類学研究科研究生
- 一九八五年 筑波大学歴史人類学系文部技官採用
- 一九八八年 筑波大学歴史人類学系文部教官助手採用
- 一九九二年 筑波大学歴史人類学系文部教官助手退職
- 一九九五年 東京都立大学人文学部史学科助教教授採用

二〇〇四年 首都大学東京都市教養学部歴史・考古学教室准教授

二〇〇七年 首都大学東京都市教養学部歴史・考古学教室教授

二〇一八年 首都大学東京人文社会学部歴史学・考古学教室教授

二〇一九年 首都大学東京人文社会学部歴史学・考古学教室 退職

二〇一九年 首都大学東京プレミアムカレッジ特任教授採用

【学会・研究会】

日本考古学会、日本考古学協会（理事・総務委員・旧石器捏造問題検討委員）、考古学研究会、古代学協会、日本生態学会、日本文化財科学会、日本植生史学会（評議員）、日本民具学会、韓国考古学会、中国農業考古学会、延喜式研究会、メトロポリタン史学会（副会長）、縄文時代文化研究会

【招待講演・シンポジウム（国内外学会・地域学会）】

日本考古学協会（日本における農耕技術形成・縄文時代の木の文化・弥生時代古墳時代の畑作技術）、日本生態学会（縄文時代の森林資源）、日本植生史学会（縄文時代の生活用具）、日本建築学会構築部会研究会（竪穴住居の構造と構築実験）、木造建築フォーラム（縄文住居づくりとクリ林経済）、中国農業考古学会（先史考古学における採集経済・生産経済認識の再検討）、韓国ソウル大学新石器時代の植物利用研究会（日本考古学の植物遺体研究法）、韓国慶州文化財研究所（湿地遺跡研究会・出土木器の研究方法）、北海道考古学会（縄文時代の漆器・漆器研究の最前線）、青森県三内丸山遺跡シンポジウム（縄文時代の資源空間）、新潟県考古学会（青田遺跡の植物遺物）、石川県考古学会（縄文時代・弥生時代の木の文化）、静岡県考古学会（古代における祭祀遺物の研究をシフトする）縄文時代研究会（縄文時代の集落）、埼玉県考古学会（縄文時代草創期土器の併行関係）、大阪狭山池博物館（出土木器研究の最前線）、関西

縄文時代研究会（遺跡データベースの構築）

【招待講演・学術指導（国外）】

中国社会科学学院考古研究所、香港中文大学、ベトナムフエ科学大学、韓国釜山大学・木浦大学・国立中央博物館、国立文化財研究所・ウリ文化財研究所・国立全羅南道博物館、ロシアハバロフスク州郷土博物館考古博物館

【学術指導・職員研修講師・文化財講演会（国内）】

北海道埋蔵文化財センター、北海道開拓記念館、青森県埋蔵文化財センター、青森市教育委員会、八戸市は川縄文博物館、野辺地町教育委員会、田舎館村教育委員会、岩手県埋蔵文化財センター、二戸市教育委員会、一戸町御所野縄文博物館、滝沢市埋蔵文化財センター、宮古市教育委員会、大迫町教育委員会、宮古市教育委員会、花巻市博物館、平泉町教育委員会、秋田県埋蔵文化財センター、秋田県立博物館、五城目町教育委員会、宮城県立東北歴史資料館、仙台市教育委員会、仙台市博物館、仙台市地底の森ミュージアム、仙台市山田上ノ台遺跡公園、山形県埋蔵文化財センター、山形県立うきたむ風土記の丘資料館、天童市西沼田遺跡公園、福島県埋蔵文化財調査事業団、福島市埋蔵文化財調査事業団、福島県立博物館、福島県文化財調査事業団白河館まほろん、いわき市文化財事業団、南相馬市教育委員会、三島町教育委員会、茨城県埋蔵文化財調査事業団、茨城県歴史館、土浦市博物館、ひたちなか市教育委員会、栃木県埋蔵文化財センター、小山市立博物館、国分寺町教育委員会、群馬県埋蔵文化財調査事業団、高崎市教育委員会、前橋市教育委員会、渋川市教育委員会、岩宿文化博物館、埼玉県立博物館、早稲田大学所沢校地調査団、埼玉県埋蔵文化財調査事業団、さいたま市教育委員会、吉見町教育委員会、川口市教育委員会、深谷市教育委員会、桶川市教育委員会、富士見市水子貝塚博物館、千葉県文化財センター、千葉市教育委員会、佐倉市教育委員会、市原市教育委員会、御宿町教育委員会、市川市考古博物館、加曾利貝塚博物館、船橋市教育委員会、松戸市立博物館、東京都、

東京都埋蔵文化財センター、港区郷土資料館、足立区教育委員会、北区教育委員会、千代田区教育委員会、新宿区教育委員会、世田谷区教育委員会、大田区郷土博物館、調布市郷土博物館、練馬区教育委員会、小金井市教育委員会、東村山市教育委員会、府中市郷土の森博物館、江戸東京たてもの園、神奈川県埋蔵文化財センター、神奈川県立博物館、相模原市博物館、相模原市教育委員会、横須賀市教育委員会、横須賀市博物館、三浦市教育委員会、藤沢市教育委員会、茅ヶ崎市教育委員会、小田原市教育委員会、新潟県埋蔵文化財調査事業団、新潟県立博物館、新潟市教育委員会、新発田市教育委員会、十日町市博物館、糸魚川市教育委員会、胎内市教育委員会、佐渡市教育委員会、富山県埋蔵文化財センター、富山県埋蔵文化財調査事業団、富山市教育委員会、高岡市教育委員会、小矢部市教育委員会、氷見市立博物館、砺波市教育委員会、石川県教育委員会、石川県埋蔵文化財センター、金沢市教育委員会、小松市教育委員会、小松市埋蔵文化財センター、石川県立白山ろく民俗資料館、能登町教育委員会、福井県埋蔵文化財センター、福井県一乗谷資料館、福井県立若狭歴史民俗資料館、小浜市教育委員会、若狭町縄文博物館、あわら市教育委員会、山梨県埋蔵文化財センター、山梨県立考古博物館、中央市教育委員会、北杜市教育委員会、長野県埋蔵文化財センター、長野市教育委員会、千曲市教育委員会、松本市教育委員会、塩尻市教育委員会、岡谷市教育委員会、飯田市教育委員会、茅野市教育委員会、佐久市教育委員会、小海町教育委員会、御代田町教育委員会、浅間山縄文ミュージアム、野尻湖ナウマン象ミュージアム、栃原遺跡博物館、静岡県埋蔵文化財センター、静岡市教育委員会、登呂遺跡博物館、沼津市教育委員会、富士市博物館、浜松市教育委員会、三島市教育委員会、菊川市教育委員会、御前崎市教育委員会、愛知県埋蔵文化財センター、名古屋博物館、豊橋市博物館、一宮市博物館、常滑市教育委員会、愛西市教育委員会、岐阜県埋蔵文化財保護センター、岐阜市博物館、大垣市埋蔵文化財センター、高山市教育委員会、飛騨市教育委員会、三重県埋蔵文化財センター、斎宮歴史博物館、四日市市教育委員会、鈴鹿市教育委員会、伊賀市教育委員会、滋賀県埋蔵文化財センター、長浜市教育委員会、米原市教育委員会、守山市教育委員会、東近江市教育委員会、京都府教育委員会、京都市埋蔵文化財センター、長岡京市埋蔵文化財センター、舞鶴市教育委員会、京都文化

博物館、京都大学埋蔵文化財センター、奈良県橿原考古学研究所、奈良文化財研究所、橿原市教育委員会、御所市教育委員会、元興寺文化財研究所、和歌山県教育委員会、兵庫県教育委員会、西宮市教育委員会、赤穂市教育委員会、豊岡市教育委員会、岡山県埋蔵文化財センター、岡山市埋蔵文化財センター、倉敷考古資料館、鳥取県埋蔵文化財センター、鳥取市埋蔵文化財センター、青谷上寺地調査室、むきばんだ史跡公園、米子市教育委員会、島根県立埋蔵文化財センター、島根大学埋蔵文化財センター、松江市玉造資料館、松江市立田和山遺跡公園、島根県立風土記の丘資料館、島根県歴史博物館、出雲市教育委員会、広島県埋蔵文化財センター、山口県教育委員会、下関市教育委員会、香川県埋蔵文化財センター、香川県立瀬戸内海歴史民俗資料館、徳島県埋蔵文化財センター、徳島県立博物館、徳島県立鳥居龍蔵記念博物館、徳島大学埋蔵文化財センター、高知県立埋蔵文化財センター、高知県立博物館、いの町紙の博物館、大豊町定福寺民俗資料館、愛媛県埋蔵文化財センター、愛媛県立歴史博物館、松山市立博物館、福岡県教育委員会、福岡市埋蔵文化財センター、北九州市教育委員会、糸島市教育委員会、筑紫野市教育委員会、久留米市教育委員会、行橋市教育委員会、太宰府市教育委員会、宗像市教育委員会、佐賀県教育委員会、佐賀県立博物館、佐賀市教育委員会、唐津市教育委員会、多久市教育委員会、小城市教育委員会、上峰町教育委員会、長崎県教育委員会、長崎県埋蔵文化財センター、田平町教育委員会、平戸市教育委員会、大分県埋蔵文化財センター、大分県歴史資料館、中津市教育委員会、日田市教育委員会、国東市教育委員会、臼杵市教育委員会、熊本県教育委員会、熊本市教育委員会、八代市教育委員会、玉名市立歴史博物館、宮崎県教育委員会、宮崎市教育委員会、宮崎県立西都原博物館、鹿児島県立埋蔵文化財センター、鹿児島県立黎明館、鹿児島市教育委員会、出水市教育委員会、指宿市教育委員会、北谷町教育委員会

【学術標本・資料の提供・貸し出し】

国立歴史民俗博物館、国立科学博物館、一戸町御所野縄文博物館、秋田県立博物館、天童市西沼田遺跡公園、みどり

市岩宿文化博物館、松戸市立博物館、府中市郷土の森博物館、江戸・東京くらしの建物園、神奈川県立人文博物館、相模原市博物館、新潟県立博物館、飛騨市みやがわ考古民俗資料館、若狭町縄文博物館、大阪府弥生文化博物館、島根県立歴史博物館、竹中大工道具館、大豊町豊永郷民俗資料館、大分市歴史資料館、宮崎県立西都原考古博物館

【共同研究（国外）】

台湾大学（墾丁公園遺跡発掘調査）、香港中文大学（東湾遺跡発掘調査）、全羅南道博物館（新昌洞遺跡発掘調査）、ハバロフスク州郷土博物館（アムール川流域先史住居跡調査）、モンゴル科学アカデミー（ゴルバンゴル調査）、エジプト考古局（ハルガオアシスグレコロマン期神殿調査）

【共同研究（国内）】

国立歴史民俗博物館基幹研究（日本における農耕社会の形成研究・共同研究者）、国立歴史民俗博物館企画展研究（江戸時代の華花・共同研究者）、京都大学生存圏研究所学外共同研究（出土木器用材データベースの構築・研究代表者）、総合地球環境学研究所（気候変動に強い社会の探索・共同研究者）、神奈川大学国際常民文化研究所（道具の名称と機能の研究・共同研究者）、島根県歴史博物館（先史古代の木の匠・研究代表者）、島根大学汽水域研究センター（宍道湖中海の遺跡形成研究・共同研究者） 首都大学東京学長梓傾斜的研究（東京の基盤形成となる木造都市江戸の研究・研究代表者）（首都大学東京における情報発信と学術拠点形成の研究・研究代表者）（MRIを利用した年輪年代学研究・研究代表者）

【科学研究費補助金による研究】

奨励研究 A（日本における木製農具の変遷整理研究・研究代表者）、基盤研究 B（人類定住に関するエスノ・アーケオ

ロジ研究・研究代表者)、基盤研究A(実験考古学による器具効力と資源利用に関する研究・研究代表者)基盤研究B(実験考古学による器具協力と資源利用研究・研究代表者)、基盤研究C(出土木器の用材データベース形成研究・分担研究者)基盤研究B(縄文時代の栗林研究・分担研究者)、基盤研究B(縄文時代の栗林研究の展開・分担研究者)、基盤研究B(長野県ノンコ岩陰遺跡のバイオ・アーケオロジ研究・分担研究者)、基盤研究B(岩陰遺跡のバイオ・アーケオロジ研究・研究分担者)、基盤研究A(後期旧石器時代の人類はどのようにして日本列島にたどりついたのか・分担研究者)

【外部資金獲得による研究】

三菱財団人文科学助成研究(東北アジア農耕非受谷地域の集落遺跡研究・研究代表者)、JFE21世紀財団研究助成(日韓石鍬の比較研究・研究代表者)、味の素財団研究助成(アムール川流域の民族考古学・共同研究者)、サントリー財団研究助成(アムール川流域の先史遺跡調査・共同研究者)、東京都高度研究アジア人材育成基金(アジア地域の風土と社会に根差した持続可能都市建築の構築技術・共同研究者)

【国史跡指定審議委員会・国史跡整備委員会・博物館新設改設専門委員会等 委員】

岩手県御所野遺跡、福島県浦尻貝塚、千葉県井野長割遺跡、東京都下布田遺跡、神奈川県勝坂遺跡、新潟県青田遺跡、富山県桜町遺跡、石川県真脇遺跡、福井県鳥浜貝塚、静岡県登呂遺跡、鳥取県妻木晩田遺跡、佐賀県東名遺跡、大分県横尾貝塚、八戸市考古博物館、御所野縄文博物館、港区郷土博物館、金沢市縄文ミュージアム、若狭町縄文博物館、竹中大工道具館

【非常勤講師・集中講義】

東京学芸大学第3群、静岡大学人文社会学部、京都大学生存圏研究所、東北大学植物園、明治大学文学部、武蔵野美術大学教養文化コース、韓国釜山大学考古学科、韓国慶州文化財研究所

【業績目録】

《著作》

《单著》

一九九三年 『日本列島における木質遺物出土遺跡文献集成—用材から見た人間・植物関係史—』 植生史研究特別一号

二四二頁 日本植生史学会

二〇〇〇年 『調べ学習日本の歴史1縄文のムラの研究』 ポプラ社

二〇〇三年 『考古資料大観8木・繊維製品』 三二九頁 小学館

《編著》

一九九〇年 『湧別川—遠間栄治氏採集幌加沢遠間地点石器図録—』 二三九頁 遠軽町教育委員会・筑波大学

一九九六年 PROJECT AMUR. University of Tsukuba Master Program of Area Studies. 82p.

『週刊朝日百科 植物の世界1〇八号—木で作る—』 四八頁 朝日新聞社

一九九八年 『人類誌集報一九九七—漆利用の人類誌・飛騨山峡の人類誌・遺跡資料の人類誌—』 東京都立大学考古学報告二 七六頁

一九九九年 『人類誌集報一九九八—漆利用の人類誌・飛騨山峡の人類誌・遺跡資料の人類誌—』 東京都立大学考古学報告三 二一〇頁

二〇〇〇年 『環境と歴史—自然の中に歴史を読む—』 一八〇頁 朝倉書店

『縄文遺跡の復元』二四七頁 学生社

『人類誌集報一九九九―漆利用の人類誌・飛騨山峡の人類誌・遺跡資料の人類誌―』東京都立大学考古学報告四 二七九頁

二〇〇一年 『人類誌集報二〇〇〇―漆利用の人類誌・飛騨山峡の人類誌・実験考古学の人類誌・遺跡資料の人類誌―』東京都立大学考古学報告六 二九四頁

二〇〇二年 『人類誌集報二〇〇一―漆利用の人類誌・飛騨山峡の人類誌・実験考古学の人類誌・遺跡資料の人類誌―』東京都立大学考古学報告七 一五四頁

二〇〇三年 『人類誌集報二〇〇二―漆利用の人類誌・飛騨山峡の人類誌・実験考古学の人類誌・遺跡資料の人類誌―』東京都立大学考古学報告八 二六七頁

二〇〇四年 『人類誌集報二〇〇三―飛騨山峡民俗誌の人類誌・実験考古学の人類誌・遺跡資料の人類誌―』首都大学東京考古学報告九 一五四頁

二〇〇五年 『人類誌集報二〇〇四―飛騨山峡民俗誌の人類誌・実験考古学の人類誌・遺跡資料の人類誌―』首都大学東京考古学報告一〇 一三六頁

『人類定住に関するエスノ・アーケオロジー研究―多工程技術・構造物整備・空間認識理解―』平成9（12）年度科学研究費補助金（基盤研究B2）研究成果報告書 四五七頁

二〇〇七年 『現代につながる縄文文化・二〇〇六年は川シンポジウムの記録』一二八頁 東奥日報社

『人類誌集報二〇〇五―飛騨山峡の人類誌・遺跡資料の人類誌―』首都大学東京考古学報告一一 一七四頁

二〇〇九年 『人類誌集報二〇〇六・二〇〇七―実験考古学の人類誌・遺跡資料の人類誌―』首都大学東京考古学報告十二 一二二頁

二〇一一年 『人類誌集報二〇〇八・二〇〇九―実験考古学の人類誌・遺跡資料の人類誌―』首都大学東京考古学報告

一二二 二〇六頁

二〇一二年 『木の考古学―出土木器用材データベース―』 四四九頁 海青社

『人類定住に関するエスノ・アーケオロジ―研究―多工程技術・構造物整備・空間認識理解―』 平成9（12）年度科学研究費補助金（基盤研究B2） 研究成果報告書 四五七頁

二〇一五年 『首都大学東京傾斜的研究費「学術成果の都民への発信拠点・組織の形成」研究グループ（代表…山田昌久）平成二六年度活動報告書』 八四頁 学術成果の都民への発信拠点・組織の形成研究グループ

『人類誌集報二〇一五・四―遺跡誌情報・民俗誌情報・実験誌情報による人類誌―』 首都大学東京考古学報告一四 人類誌調査グループ 一〇四頁

二〇一八年 『日本 原始・古代の木工技術―伐採・瀬尾材技術と減少・増加加工技術―』 『モノと技術の古代史・木器編』 一五―七六頁 吉川弘文館

『工具形成過程史と木組み技法』 『モノと技術の古代史・木器編』 七七―八〇頁 吉川弘文館

『弥生・古墳時代の舞羽―本当に、認めかけ、だったのか―』 『モノと技術の古代史・木器編』 一六三―一六六頁 吉川弘文館

《単行本・講座本の分担執筆》

一九八三年 『木製品』『縄文文化の研究七・動具と技術』 二六三―二八三頁 雄山閣出版

『岩手県桜町遺跡・縄文時代の石器製作』『神奈川県吉井城山遺跡・縄文土器の平底化』『縄文の遺跡―東日本編―』 三三四頁 有斐閣

一九八四年 『鳥浜貝塚』『縄文の遺跡―西日本編―』 三三八頁 有斐閣

一九八五年 『縄文時代における石器研究序説―剥片剥離技術と剥片石器をめぐって―』 『論集・日本原史（杉原莊介

先生献呈論文集』二一九―二五二頁 吉川弘文館

一九八六年 「先土器時代」『講座日本考古学別巻Ⅰ』一三―三〇頁 岩波書店

「弥生時代の木製遺物」『対談記録』『弥生人の四季』檀原考古学研究所編 二二〇頁 六興出版

一九八七年 「縄文集落の大きさとしくみ」『縄文都市を掘る』九一―一三〇頁 NHK出版

一九九一年 「稲作技術」『古墳時代の研究四・生産と流通』三六―五〇頁 雄山閣出版

「考古学における樹種選択研究の現状」『日本民具学会論集四―木と民具』一一三―一二七頁 日本民具学会 雄山閣出版

一九九二年 「古墳時代の農耕技術」『日本列島における農耕社会形成過程―日本考古学協会シンポジウムの記録―』

一九六頁 学生社

一九九三年 「木器」『第四紀試料分析法』四八七―四九二頁 東京大学出版会

一九九三年 「縄文人は食料として植物をどう利用したか」『新視点日本の歴史―原始編』九六―一〇三頁 新人物往

来社

「縄文人は生活用具として植物をどう利用したか」『新視点日本の歴史―原始編』一〇四―一一一頁 新人物往来社

一九九七年 「縄文集落の大きさとしくみ」『縄文都市を掘る』NHK出版

一九九八年 「縄文人の技術」『縄文人と環境』『ここまでわかった日本の先史時代』角川書店

『シンポジウム日本の考古学Ⅱ・縄文時代の考古学』三〇二頁 学生社

一九九九年 「縄文人の施設・土木技術」『縄文学の世界』一八一―一九四頁 朝日新聞社

二〇〇一年 「縄文人の村づくり・その植物と道具の駆使」『NHKスペシャル日本人はるかな旅』三―海が育てた森

の王国 一五九―一七四頁 NHK出版

「木工技術」『桜町遺跡—北陸の縄文遺跡—』学生社 六八頁

「木工技術—石器加工と鉄器加工—」『ものづくりの考古学—原始・古代の人々の知恵と工夫—』一八一—

二〇一頁 東京美術

二〇〇二年 「コスモポリタン縄文人」『改訂版縄文人の時代』一七—四八頁 新泉社

「村にすむ時間の蓄積」『日本人はるかな旅』五—そして日本人が生まれた 一五九—一七〇頁 NHK出版

二〇〇四年 Jomon zeitliche Gesellschaften und die Techniken der Nahrungsbeschaffung. Zeit der Morgenröte

Japans Archäologie und Geschichte bis zu den Ersten Kaisern pp.109-113

「縄文人の住居作りと森林利用」『小山修三・安田喜憲との鼎談』二〇四—二四五頁、二四六—三〇一頁

「縄文人の世界」梅原猛編 角川書店

二〇〇五年 「縄文・弥生幻想からの覚醒」『講座・現代の考古学二 食糧獲得社会の考古学』朝倉書店

「縄文社会と食糧獲得活動」『日本の考古学・上』学生社

二〇〇七年 「木の利用と実験考古学—住環境整備に限定して—」『縄文時代の考古学六・ものづくり』同成社

「日本における村落・都市形成に係る木材調達システム」『歴史のなかの移動とネットワーク』メトロポ

リタン叢書一 桜井書店

二〇一四年 「縄文時代に人類は植物をどう利用したか」『講座日本の考古学4 縄文時代・下』一七九—二二一頁 青

木書店

二〇一五年 「石野博信・金関怒・佐原真・山田昌久・寺沢薫 弥生時代の生活」『石野博信討論集 倭国乱とは何か

—クニへの胎動—』二二八—三〇九頁 新泉社

《論文》

〈單著論文〉

一九七九年 「木製品」『鳥浜貝塚―縄文時代低湿地遺跡の発掘調査報告』福井県教育委員会

一九八一年 「縄文人の道具箱」『アニマ』第九卷三号 平凡社

「縄文時代早期土器の土器をめぐって」『鴨居上ノ台遺跡』二四―二六四頁 横須賀市文化財調査報告書第八集

「木質遺物研究に際しての覚え書き」『駿台史学』四八号 駿台史学会

「木工技法の分類」『鳥浜貝塚―縄文時代低湿地遺跡の発掘調査報告』一〇一―一一七頁 福井県教育委員会

一九八二年 「木工技術の変化と特徴的な着柄鋤鋤について」『日高遺跡発掘調査報告書』

一九八四年 「環境変化と道具」『歴史公論』原始日本の食生活と環境特集号 九四―一〇四頁 雄山閣

一九八五年 「縄文の弓弥生の弓」『歴史公論』狩猟採集の技術特集号 八二―九〇頁 雄山閣出版

一九八六年 「くわとすきの来た道」『新保遺跡Ⅰ本文編』群馬県埋蔵文化財調査事業団

一九八七年 「縄文時代土器製塩の背景」『史境』二七号 筑波大学歴史・人類学会

一九八八年 「縄文時代草創期終末土器群の並行関係―多縄文系土器群の変遷と縄文時代草創期の終焉―」『埼玉考古』

第二四号 埼玉県考古学会

「東日本の農耕技術」『日本農耕文化の起源』日本考古学協会一九八八年静岡大会資料集 二四―四二頁 静岡県考古学会

一九八九年 「縄文時代のうつわを探る」『小樽市忍路土場遺跡 北海道埋蔵文化財センター調査報告書』五三集 八

七―九六頁

「木工技術の変化と縄文・弥生社会」『貝塚博物館紀要』第一六号 三六—五五頁 加曾利貝塚博物館
「日本における古墳時代後期牛馬耕開始説再論」『歴史人類』第一七号 一—三四頁 筑波大学歴史・人類学系紀要

「木製遺物から見た縄文時代の集落とくらし」『縄文時代の木の文化』日本考古学協会一九八九年富山大会資料集 八一—一〇七頁 富山県考古学会

一九九〇年 「日本における木材利用史」『植生史研究』第七号 三—一二頁 植生史研究会

「縄紋文化の構図・上—東アジア始原文化の動向と縄紋文化の位相—」『古代文化』第四二巻第九号 三一—四四頁 古代学協会

「縄紋文化の構図・下—東アジア始原文化の動向と縄紋文化の位相—」『古代文化』第四二巻第一二号 四九—六一頁 古代学協会

一九九一年 「日本における木材利用史」『植生史研究』第八号 三—一二頁 植生史研究会

「道具の復元」『季刊考古学』第三五号 巻頭図版 雄山閣出版

「石斧と石斧柄」『季刊考古学』第三五号 四八—五〇頁 雄山閣出版

一九九二年 「貝塚と貝塚に残された道具」『季刊考古学』第四一号 四—四六頁 雄山閣出版

一九九五年 「考古学における木質遺物の研究動向をめぐって—縄文時代から江戸時代まで—」『牟邪志』第七号 一—三四頁 武蔵考古学研究會

「日本における一三—一九世紀の気候変化と野生植物利用の関係」『植生史研究』第三巻第一号 三—一四頁 日本植生史学会

一九九六年 「時間知変化・多工程技術・空間知変化」『季刊考古学』第五五号 二七—三二頁 雄山閣出版

二〇〇〇年 「縄文の鋤鋤を使い続けた人々」『東北学』第二巻 二六〇—二七二頁 東北芸術工科大学東北文化研究

センター

「実験資料と遺跡出土資料の比較研究」『人類誌集報二〇〇〇』東京都立大学考古学報告五 一七一―一八五頁

「縄文集落の居住原理と用材調達空間」『人類誌集報二〇〇〇』東京都立大学考古学報告五 一八六―一八九頁

「縄文工具の使用実験縄文工具の使用実験」『人類誌集報二〇〇〇』東京都立大学考古学報告五 二〇三―二〇八頁

二〇〇一年 「環境考古学と遺跡情報」『環境情報科学』第四八巻第七号 一七一―二五頁

「定住縄文人と森林」『文化遺産の世界』第二号 一一―一二頁 文化庁

二〇〇二年 「組合せ式針葉樹製鋤の再検討」『月刊考古学ジャーナル』四八六号 一二―一八頁 ニューサイエンス社

「木器・木材加工」『季刊考古学』第八一号 三―七頁 雄山閣出版

「磨製石斧」『季刊考古学』第八一号 二二―二七頁 雄山閣出版

「漆器」『季刊考古学』第八一号 二八―二九頁 雄山閣出版

「材生長から見る縄文・弥生時代の人類と森林関係」『人類誌集報二〇〇二』一九三―一九九頁 東京都立大学考古学報告八

二〇〇四年 「青田遺跡の木質遺物から議論できること」『青田遺跡』新潟県埋蔵文化財調査報告書第一三三集 二四九―二六〇頁

二〇〇五年 「縄文石斧の森林伐採実験で見てきたこと」『NHK知るを楽しむ・なんでも好奇心―縄文ミステリーツアー』七二―七五頁 NHK出版

二〇〇六年 「弥生時代平野スギ大径木利用構想―静岡県登呂遺跡出土材からの用材法復元―」『特別史跡登呂遺跡再

発掘調査報告書（自然科学分析・総括編）『静岡市教育委員会』

二〇〇九年 「先史社会の環境交渉力を測る木質遺物研究試論」『出土木器研究会論集 木・ひと・文化』一一二頁

二〇一〇年 「先史時代農耕不営地域における狩猟採集民研究」『平成一九年度三菱財団人文科学研究助成報告書』

「クリ林経済の変容と分割製材技術」『真脇遺跡二〇一〇』一五五―一六二頁 能登町教育委員会

二〇一二年 「総説・木材を使用した製品の豊富な種類」『木の考古学』一一五―一三二頁 海青社

「遺跡出土木製品研究の展開」『木の考古学』一〇三―一四頁 海青社

「木工技術と森林利用」『木の考古学』三二八―三三八頁 海青社

「上新田田中遺跡の漆採取・保管用竹管について」『上新田田中遺跡発掘調査報告書』三四〇―三四三頁

「高畑遺跡出土木製品・加工木」『高畑遺跡』一九〇―一九一頁 福岡市埋蔵文化財センター

二〇一三年 「実験考古学で探る出土木器の機能・効力・加工精度」『木製品から見た古代のくらし』一一―二二頁 島根県古代文化センター

「集成加工の木器」『月刊考古学ジャーナル』六四二号 七一―一頁 ニューサイエンス社

二〇一六年 「植物繊維利用に関する遺物誌・実験誌」『月刊・考古学ジャーナル』六八三号 二―五頁

「近世都市江戸の木材調達・用水整備について」『メトロポリタン史学』一二号 七七―九〇頁

二〇一七年 「道具名称・運用技術・交渉環境を探る」『神奈川大学常民文化研究所紀要二〇一六』二二―二二八頁

二〇一八年 「実験で検証する弥生・古墳時代の木製品」『うきたむ考古』二二号 一―二六頁 山形県うきたむ風土記の丘考古資料館

〈共著論文〉

一九七六年 「縄文前期の石斧柄」『どるめん』一〇号 JICC出版局

一九八八年 「北海道における最古の石器文化―一九八四年度嶋木遺跡発掘調査概要報告―」『歴史人類』第一六号

一 四七頁 筑波大学歴史・人類学系紀要

一九九九年 Археологические Исследования На Нижнем Амуре в1998 г Историко-культурное и природное наследие

Дальнего востока на рубеже веков :Проблемы изучения и сохранения. Хабаровск. Апрель1999.

二〇〇〇年 「兵庫県城崎郡竹野町の水利利用調査」『人類誌集報二〇〇〇』東京都立大学考古学報告五 二一八―二九

四頁

二〇〇二年 Веренпалео Литический комплекс стоянки Голый Мыс (Нижний Амур). Записки Гродзского Музея. Вып.

3. с.7-20,

二〇〇七年 「堅穴住居における燃焼実験」『御所野遺跡環境整備事業報告書Ⅱ』四八―六五頁 一戸町教育委員会

「木材伐採実験・富山県桜町遺跡出土資料を復元した磨製石斧の使用実験」『人類誌集報二〇〇五』一一

四―一二七頁 首都大学東京考古学報告一一 学会誌』一二三号 一九―三三頁

二〇〇九年 「二〇〇七年度北相木村における岩陰地形分布調査」『人類誌集報二〇〇六・二〇〇七』首都大学東京考

古学報告二二 八一―九七頁

二〇一〇年 「縄文時代丸木舟の復元製作実験」『人類誌集報二〇〇八・二〇〇九―実験考古学の人類誌・遺跡資料の

人類誌』首都大学東京考古学報告一二八―九七頁

二〇一一年 「南佐久郡北相木村ノンコ岩1遺跡試掘調査報告」『人類誌集報二〇〇八・二〇〇九』首都大学東京考古

学報告一二 五一―四四頁

「樹木の伐採における縦斧・横斧」『人類誌集報二〇〇八・二〇〇九―実験考古学の人類誌・遺跡資料の人類誌』九八―一〇八 首都大学東京考古学報告一三

「初期農耕開始期の打製石斧に関する日韓共同研究」『アジア歴史研究報告書二〇一〇年度』四七―五九頁

《博物館常設展示・企画展示図録への寄稿》

一九八六年 「木工技術総論」『いにしへの木の匠』三一—二頁 福島県立博物館

二〇〇四年 『海を渡った華花』八二頁 国立歴史民俗博物館企画展図録

二〇一三年 「弥生時代の木工技術と農具生産」『穂落とし神の足跡―農具でひもとく弥生社会―』展示図録 一一—

二二頁 大阪府弥生文化博物館

「縄文時代の食と生活を考える」『山梨県立考古博物館・企画展図録・食いしんぼうの縄文人』六一—六四頁 山梨県立考古博物館

「木器研究の広がり―分類・系統研究と効力・加工精度実験研究―」『企画展・発掘された木の道具』六四—六七頁 埼玉県立歴史と民俗の博物館

二〇〇五年 「江戸遺跡の花」『海を渡った華花』八二頁 国立歴史民俗博物館企画展図録

二〇一四年 「実験考古学の世界―道具研究の最前線―」『竹中大工道具館常設展示図録』三四—三五頁

《調査報告書》

一九七六年 『港南台』神奈川県埋蔵文化財調査報告書九 一六一頁 神奈川県教育委員会

『三浦市赤坂遺跡』四〇頁 三浦市教育委員会

一九七九年 『鳥浜貝塚―一九七五年度調査概要報告―』三二—一頁 福井県立若狹歴史民俗資料館

一九八〇年 『諸磯貝塚とその周辺』六〇頁 三浦市教育委員会

一九八一年 『鴨居上ノ台遺跡』二九〇頁 横須賀市文化財調査報告書第八集

『鳥浜貝塚Ⅱ―一九八〇年度の調査概要報告―』

『一戸バイパス関係埋蔵文化財報告書Ⅰ―戸城址』一戸町教育委員会

- 一九八二年 『日高遺跡発掘調査報告書』三七八頁 群馬県埋蔵文化財調査事業団
- 一九八四年 『新保遺跡Ⅰ―弥生時代・古墳時代大溝編―』三九〇頁 群馬県埋蔵文化財調査事業団
- 『寿能泥炭層遺跡発掘調査報告書―人工遺物編―』六七九頁 埼玉県教育委員会
- 一九八五年 『深谷町遺跡発掘調査報告書』一〇二頁 深谷市教育委員会
- 一九八八年 『一戸バイパス関係埋蔵文化財調査報告書Ⅲ馬場平遺跡』三四八頁 一戸町教育委員会
- 一九八九年 『小樽市忍路土場遺跡 北海道埋蔵文化財センター調査報告書』五三
- 一九九二年 『千葉市神門遺跡発掘調査報告書』四五二頁 千葉市教育委員会
- 一九九八年 『宮ノ前遺跡発掘調査報告書』四二二頁 宮川村教育委員会
- 『足立区北部の遺跡群』三二二頁 足立区伊興遺跡調査会
- 一九九九年 『伊興遺跡Ⅱ保木間堀親水路整備工事に伴う調査報告書』二三九頁 足立区伊興遺跡調査会
- 『小樽市忍路土場遺跡』北海道埋蔵文化財センター調査報告書
- 二〇〇四年 『青田遺跡』新潟県埋蔵文化財調査報告書第一三三集 八四一頁
- 二〇〇二年 『戸平川遺跡』秋田県埋蔵文化財発掘調査報告書 四三二頁
- 二〇一三年 『平成二四年度首都大学東京傾斜的研究費学術成果の都民への発信拠点・組織の形成研究グループ活動報告書』五八頁
- 二〇一四年 『平成二五年度首都大学東京傾斜的研究費学術成果の都民への発信拠点・組織の形成研究グループ活動報告書』五九頁
- 二〇一五年 『平成二六年度首都大学東京傾斜的研究費学術成果の都民への発信拠点・組織の形成研究グループ活動報告書』八六頁

《研究ノート・資料紹介・動向・学会発表要旨集・その他》

一九七四年 「三浦半島における無土器時代の遺跡と遺物」 一—七頁 横須賀考古学会年報一六

一九七五年 「三浦市小網代採集の局部磨製石鏃」 三二—三四頁 横須賀考古学会年報一七

一九八〇年 『日本史地図帳』 山川出版社

一九八三年 「1982年の動向—縄文時代—」 『史学雑誌』 一九八三年五月号 三一—三八頁 史学会

「辻・南木・小池論文に対する論評」 『第四紀研究・特集号・日本考古学と第四紀研究』 第二卷第三号
二六九—二七〇頁 日本第四紀学会

一九八八年 「弥生・古墳時代の農具と水田形態の変遷」 『日本考古学協会一九八八年度静岡大会要旨集』 五—六頁 日

本考古学協会

一九八九年 「縄文時代の木製遺物と集落のくらし」 『日本考古学協会一九八九年度富山大会要旨集』 三—四頁 日本

考古学協会

一九九二年 「木の文化の国の考古学」 『文化庁月報』 二九二号 二二—二三頁 文化庁・第一法規出版

一九九四年 「農具の形態と機能—技術と形態—」 『古代における農具の変遷—稲作技術史を農具から見る』 東日本埋

蔵文化財研究会大会資料集 一一—二六頁 静岡県埋蔵文化財研究所

「一九九三年の縄文文化研究の動向・生業論」 『縄文時代・第五号』 二二—二二八頁 縄文時代文化研
究会

一九九六年 「一九九五年の縄文時代学会動向・遺物論」 『縄文時代・第七号』 一九八—二〇二頁 縄文時代文化研究会

一九九九年 「遺物研究・植物製品（木製品・繊維製品・施設材）」 『縄文時代・第一〇号—縄文時代文化研究の一〇〇
年—』 一七—一八〇頁 縄文時代文化研究会

二〇〇〇年 「考古学から見た建築材・構造部材」 『第三七回木造建築フォーラム—先史時代の木造建築技術』 八一—一

二三頁

「先史時代の木造建築をめぐる」『木の建築』五〇号 一三一―二六頁

「考古資料から畑を考える」『日本考古学協会二〇〇〇年度鹿児島大会・畑の考古学講演要旨集』五二―五九頁

二〇〇二年

「近世アイヌ漆器碗の使用と流通に関する文化財科学的研究」『食文化助成研究の報告』一二 一一―七頁
味の素食の文化センター

二〇〇三年

「環境考古学で探る奥三面遺跡群」『奥三面シンポジウム発表要旨集』一八―二一頁

二〇〇四年

「縄文人からのメッセージ」『ひたちなか市の考古学』第二号 七二頁

「アムール川下流域における後期新石器時代住居の発掘調査」『第五回北アジア調査報告会研究発表要旨集』四〇―四一頁

「縄文時代の漆器技術」『第四七回北海道考古学会シンポジウム要旨集』五一―四四頁

「青田遺跡の木質遺物から議論できること」『青田遺跡発掘調査報告書』二四九―二六〇頁

二〇〇五年

「原始・古代木製祭祀具研究をシフトする」『静岡県考古学会シンポジウム・原始古代の木製祭祀具発表資料集』六三―七〇頁

「原始古代における森林資源利用システム」『第七回生存圏シンポジウム木の文化と科学―自然科学と人文科学の接点を探る―』一―三頁 京都大学

「アムール川下流域における後期新石器時代住居の発掘調査」『第六回北アジア調査報告会研究発表要旨集』二八―二九頁

「出土漆製品を研究する視点と手法」『第一九回大会発表要旨集・日本植生史学会シンポジウム・先史時代におけるウルシの利用』二―七頁

二〇〇六年 「遺跡発見の植物と技術情報から見た人と森の関係史」『日本植生史学会第二一回大会発表要旨』

二〇〇七年 「実験考古学による森林資源の利用研究」『京都大学生存圏研究所共同研究成果報告会発表要旨』

二〇一〇年 「縄文集落の居住地整備・植物育成にかかる除草・掘削力の数値化」『日本植生史学会第二六回大会講演要旨集』 四一—四二頁

二〇一二年 「水利施設・作業空間・編組技術」『縄文時代の編組製品研究の到達点』 三—七頁 あみもの研究会

「植物処理技術と関連施設」『東名シンポジウム資料集—植物利用の源流をさぐる—湿地に残されたもの』
一〇—一二頁 佐賀市教育委員会

二〇一三年 『企画展・紀元前五四〇年縄文の森とムラづくり』 一六頁 首都大学東京 傾斜的研究費「学術成果の都

民への発信拠点・組織の形成」研究グループ

「遺跡発掘時に発見される災害情報について」『メトロポリタン史学』 八号 一一—一二頁

「鎌倉の木器研究と年輪年代研究」『第二三回鎌倉市遺跡研究発表要旨集』 二九—三二頁

「縄文時代人関与生態系における資源獲得力・土地交渉力の実験による数値化」『科学研究費補助金基盤研究B縄文集落と森林利用発表会要旨集』 六三—六六頁 首都大学東京

二〇一四年 「洞穴遺跡の調査・長野県相木川流域における岩陰遺跡群調査」『シンポジウム高山蛇穴と縄文の始まり

予稿集』 八一—八二頁 豊橋市教育委員会

「講演録・日本森林文化の源流を探る」『豊永郷文化通信』 五号 九—三三頁 豊永郷民俗資料保存会

「木の考古学データベースと各遺跡発掘調査報告書における古環境情報の質・量の変異」『第一五回関西縄文文化研究会縄文遺跡データベースの作成と利用資料集』 一三—一六頁 関西縄文文化研究会

「日韓出土木器の比較研究」『第一回韓日出土木器研究会発表資料集』 二—四頁

「臨床用MRI装置を用いた出土木器の非破壊年輪計測」『日本植生史学会第二九回大会発表資料集』 三

一頁 日本植生史学会

二〇一五年 「長野県南佐久郡小海町天狗岩岩陰遺跡の環境考古学調査」『日本考古学協会第八一回（二〇一五年度総会）発表要旨』

「長野県天狗岩岩陰遺跡の環境考古学調査」第六九回日本人類学会大会要旨集、産業技術総合研究所

「実験考古学フィールドの設置と連携関係の構築―考古学知の再検討に係る研究実践」『人類誌集報二〇一五―四』首都大学東京考古学報告一四 一―六頁 人類誌調査グループ

「集成加工技術に関する技術認識と用語体系の再検討―編み組み技術による籠製作と使用に関する実験報告展開の意義」『人類誌集報二〇一五―四』首都大学東京考古学報告一四 二四―二八頁 人類誌調査グループ

「古代の技術によるカシ材の製材実験」『高分解能古気候学と歴史・考古学の連携による気候変動に強い社会システムの探索』気候適応史プロジェクト成果報告書一 一一三頁 総合地球環境学研究所

二〇一六年 「木器研究における観察力と研究構想力の養成」『木器文化の研究』第二回韓日本器研究会発表要旨集 三三―三四頁

Feasibility study of visualizing annual ring structures of dried wood with Ultra-short Echo Time (UTE) magnetic resonance imaging (MRI) for chronological measurements 第四四回日本磁気共鳴医学大会発表要旨集

二〇一七年 「遺跡博物館でこそ可能なパブリック・アーケオロジー」『仙台市地底の森ミュージアム・縄文の森広場研究報告二〇一六』二一―三六頁

「出土建築材の調査法」『慶州文化財研究所講演資料集』二―八頁 韓国慶州文化財研究所

「長野県天狗岩岩陰遺跡の調査」日本人類学会洞窟遺跡フォーラム

「日本における木器研究の最前線」『公立埋文協会報』第五九号 一―一〇頁 全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会

「天狗岩岩陰遺跡の発掘調査」『洞窟遺跡フォーラム』

二〇一九年 「勝坂遺跡公園で縄文時代人の技術や資源観を考える」『勝坂遺跡シンポジウム・よみがえる縄文時代の集落』二二―二九頁